



〒892-0841
鹿児島市照国町13-42
カトリック鹿児島司教区
電話099 (226) 5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部
1部60円年間千共1100円



司教の手紙

「イエスの復活」の理解を深める

鹿児島教区司教 中野裕明

教区の皆さま、主イエスの復活おめでとうございませう。復活の慶びが教区全体に行き渡りますように。

今回は復活節に因んで、イエスの復活についてお話しいたします。

私は、ある信者さんから、「自分は信者ですが、最近イエスの復活が信じられないのです」という告白を受けたことがあります。私は「それはありうることだろう」と思いました。それで今回のテーマを選びました。

まず、イエスと弟子たちや婦人たちの関係について見てみましょう。イエスが人々の前に公になったのは、30歳過ぎからでした。イエスは「神の国の到来」について民衆に語りかけると同時に、特定の人に声をかけ弟子をつくりました。勿論イエスは魅了され、彼の後を慕う女性もいました。彼らにとつてのイエスは、「ナザレのイエス」でした。父はヨセフで、母はマリアという理解で、その言動を見て、「もし

政治指導者となつて、住みやすい国をつくつてくれる方ではないか」と期待を寄せていました。これが第1段階です。しかし、3年間の活動後、ナザレのイエスはユダ王国の宗教指導者や統治者たちによつて殺されてしまい、イエスに希望を賭けていた弟子たちは絶望を経験します。これが第2段階です。ところが、3日目に、殺されて埋葬されたはずのナザレのイエスは親交のあつた弟子たちや女性たちに現れて、自分が生きていたことを証明しました。これが第3段階です。

さらには、かつてはユダヤ教の教師で、復活したイエスに追随している信者を「ユダヤ教に戻らせよう」と迫害していたサウロが、復活したイエスに出会い、キリスト教に改宗します。そして、ガリラヤ出身で生前のイエスを知っている弟子たちと共に、復活したイエスを世界中の国の人々に知らせる、いわゆる宣教活動を始めることになりました。これが第5段階です。

日本に生まれ、キリスト教とは異なる日本文化の中で育つた私たちはどのようにして、キリスト教徒になつたのでしょうか。

それは、人生の途上で遭遇した困難や危険から救われた経験があるからではないでしょうか。救いのきっかけとなつたイエスの言葉、あるいは聖書の一節、あるいは自分に向けられた無償の愛、それらに魅せられて洗礼を望んだのではないのでしょうか。

私は、「お金持ちになりたい」とか、「有名にな

りたい」とか、「偉い人になりたい」とか、「機で洗礼を望んだ人になれませんでした。大抵の人は、自分の惨めさを認め、神の祝福を求めて受洗します。つまり自分の善のためです。ただ、先ほどのイエスの復活が信じられなかった

人の場合、第2段階の弟子たちの状態ではないかと思ひます。つまり、イエスへの期待が薄れてしまふ。弟子たちの場合は、もつと悲惨で、絶望の状態に陥つていました。しかし、第3から第4段階で弟子たちの生き方は180度変化しました。聖書を研究しました。特にイエスの受難物語を丹念になぞりました。そして、悟つたのです。「愛する師であつたイエスが十字架の上で殺される羽目になつたのは、ほかでもない自分内在する罪(原罪)である」ということを。通

原点を思い起こす 教区の日(ミサ)

鹿児島の教会は、ピオ12世教皇によつて1955年2月25日、知牧区から司教区へ昇格された。この記念の日(2月25日)を「教区の日」と定めた中野裕明司教は、今年もこの日の午後、鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂で教区の日(ミサ)をささげた。この日のミサは中野司教



常、人間の世界では罪を犯すと罰が下ります。しかし、イエスの場合は、イエスに対して、罪を犯しても返つてきたのは「ゆるし」だったことを(ヨハネ 20:19、23参照)。

私たちは、通常、自分が犯す罪には敏感です。それは多分自分の評判を保つために他人から悪く思われたいためです。しかし、思い出したださい。イエスの受難劇の中で、ピラトがこのイエスをどうしようかと群衆に問いかけたところ、群衆はイエスを「十字架につける」と叫んだこと(ルカ 23:23参照)。

その上で「縦軸と横軸が交わる原点に帰ろう」と呼びかけ、神とのつながりの縦軸、人間とのつながりの横軸のどちらも大切にすることを、それぞれが洗礼を受けた日(原点)の決意を思い出そうと説いた。

元鹿児島教区司教 下村徹神父が帰天

永年、鹿児島教区で働かれたヨゼフ下村徹神父が2月16日(木)老衰のため、入所先の恵みの丘長崎原爆ホームで帰天された。87歳だった。

1935年12月に大阪市に生まれた下村神父は、1962年3月19日、大浦天主堂において司祭に叙階され、長崎大司教区で働いた



そのことによりピラトはイエスの死刑を確定しました。罪のないイエスを殺す計画と実権は確かに、宗教指導者と統治者にありました。しかし、それを実行に移す決定打となつたのは、イエスを「十字架につける」と叫ぶ民衆の意志だったことは確かです。

これこそ「原罪」と言われるものの正体です。イエスは復活して、「ゆるし」という方法で人類からこの原罪を取り除いて下さつたというわけです。イエスの復活の理解は私とはどのような人間であるかの理解を深めるものでもあります。

3年4月からは病気のため療養に入り、2005年11月に長崎教区に転籍し引退生活を送つていた。

鹿児島教区では、モンテッソーリ教育の普及に尽力するなど幼児教育に力を入れたほか、クルシヨヤウルトレアなどを実施するなど信徒養成担当として働いた。その下村徹神父の葬儀は2月18日(土)浦上教会で中村倫明長崎大司教の司式でささげられた。

4月30日は世界召命祈願の日

生涯は、人と人との間に神を招きよび、神の御霊を祈りつつ探していくことが大切で、高年齢化が進んでいます。司祭や修道者の減少、高齢化が進んでいます。とくに「世界召命祈願の日」には、司祭、修道者へお祈りがささげられるように祈ります。この日は、聖パウロ6世教皇が1964年に制定されました。

その上で「縦軸と横軸が交わる原点に帰ろう」と呼びかけ、神とのつながりの縦軸、人間とのつながりの横軸のどちらも大切にすることを、それぞれが洗礼を受けた日(原点)の決意を思い出そうと説いた。

明るい兆しに喜び

古田町マリア教会でミニバザー開催

2月26日(日)カトリック古田町(マリア)教会では3年ぶりにミニバザーが開催されました。

コロナ感染拡大からミサや教会活動、各会の集まりが自粛され、感染への恐怖や不安のため教会から遠ざかっていく人もおられるなど、教会内の明かりが消えてしまったようでした。そんな寂しさを感じながら、想像以上に長引いたコロナ禍で、共同体のつながりを回復するためには「何かしなければ」と声が上がりました。最初はバザーの

60年の歴史に幕

市民クリスマス

プロテスタント教会とカトリック教会が協力して開催してきた「鹿児島市民クリスマス」に関して、実行委員会を解散することが2月7日(火)の当該委員会決議で決定された。市民クリスマスは、今年実施されれば60回目という節目を迎えるところだったが、これまでの形式での開催はしなれど、また会では、これまでの繰越金(350万円)を諸団体に返却することを決め実行した。



大変さを経験している婦人会の不安の声もありましたが、「ミニバザーをしまし

よう」と決定してからは、時期やバザーの内容を何度も話し合い、自粛期間中に胸の内に秘めていた信徒たちのたくさんの意見があらわれ出て、「今自分に出ることをやりましょう」と準備にとりかかりました。

控えめな行動をとっていた壮年会も「やる時にはやるぞ」とヤキソバ100食を作るのがすぐにまとまり動き始めました。天候に恵まれバザー当日を迎えて、会場のゼローム館に所狭しと並べられたのは手作りのヨモギ餅・かぼちゃ餅・いも餅・じょうひ餅・ふくらかん・ケーキ・赤飯・たきこみご飯・つく

だ煮類・漬け物類・たながエビ・タンカンジュース。壮年のヤキソバと綿菓子などはテイクアウトしてもらい、オープンから1時間ほどで完売するなど大盛況でした。またコーヒーと手作りケーキの喫茶コーナーやサイクル品・古着・手作り小物&バック・シスターの手作りロザリオ&ブレスレット・鉢物などのコーナーでも皆の笑顔が飛び交っていました。

で、信徒やその友人たちのみの限定された声かけでしたが、久しぶりに教会に多くの人が足を運んでくださり、賑やかでなごやかな雰囲気の中でバザーを終了することができました。神さまのお恵みの中で、多くの人たちのご協力に感謝するとともに、共同体のつながりが「より一層深まったのでは」と大満足の1日でした。(報告・古田町教会信徒)



柳田神父はテーマ「神の似姿の証し人となるキリスト教的ヴィパッサナー瞑想をヒントに」をテーマに6回の講話で指導した。▼ザビエル教会でもミニバザー 3月5日と12日にザビエル教会では主日のミサ前に四旬節の黙想を行った。またミサ後には「トルコとシリアの国境付近で起きた大地震の被災者支援のため」ミニバザーを開催した。

熱心にミサ曲を学ぶ

奄美大島地区教会

奄美地区「宣教司牧を考える会」では、すでにミサが新しい式次第を使ってさげられていることを考慮して、厳粛なミサをスム

ズに進めることができるようにと3月4日(土)と5日(日)の両日、典礼研修会を実施しました。この「ミサ曲習熟のため」の研修会の講師には、東京からイエスのカリタス修道女会の峯妙子修道女に

様、山浦神父様、久保神父様にも来場いただきまし。土曜日には40人、日曜日には80人の受講者があるという有意義な研修会となりました。参加された皆さんが各小教区のミサで天使の歌声を響かせてくれることを期待し、お祈りいたします。【奄美地区宣教司牧を考える会典礼委員会】

短 信

▼教区司祭黙想会 2月27日(月)夜から3月3日(金)の朝まで教区司祭と助祭を対象にした黙想会が開催された。会場と



ウクライナのため

鹿児島カリタスからのご寄付に感謝!

鹿児島教区 フランシスコ・ザビエル中野裕明司教様

本日、レデンプトール宣教修道女会の新しい総長として、日本のシスターたちがウクライナで起きている戦争によって被害を受けた人たちのための援助のためにと先日いただいた300,000円の寛大なご寄付のために、心から感謝いたします。

2022年5月から皆様から多額のご寄付をいただき、そのご寄付で多くの方々に食料、医薬品、包帯などの必需品を提供することができました。これに対しまして、あらためて大きな、そして心からの感謝を申し上げます。

今回も、私たち総本部とウクライナのシスターたちは、救援物資をできるだけ具体的に、最も緊急に必要とされている場所へ送るよういたします。それを可能にする良い連絡先があることを神に感謝します。

私たち全員、特にウクライナの姉妹たちは、日本のキリスト教徒や他の宗教共同体が平和のための祈りの中でどれほど熱心に連帯を表明し、寛大な寄付などによってそれを証明していることに、非常に感動し続けています。これは私たちにとって大きな支えであり、重要な希望のしるしです。

司教様の祝福と祈りの一致の継続をお願いいたします。

心からのごあいさつとともに。

2023年3月7日

レデンプトール宣教修道女会
総長 Sr.テオドラ・シユラク

+KABAYAN SEKSYON+

MATIYAGANG INA NG SANTO

Sa kasaysayan ng Simbahan isa sa pinakatanyag na ugnayan ng isang ina at anak ay ang kina Santa Monica at San Agustin.

Halos lahat ng alam natin tungkol kay Monica ay nasa Confessions, ang espirituwal na talambuhay ni Agustin.

Isinilang si Monica sa hilagang Aprika, ipinagkasundo sa kasal kay Patricio, isang di-Kristiyano; mayroon siyang mabuting katangian, ngunit masama kapag magalit at walang taros.

Kailangan ding pagtiisan ni Monica ang biyanan niyang palaaway. Sa dakong huli, naakay ni Monica ang dalawa na maging mga Kristiyano sa bisa ng kanyang mga panalangin at magandang halimbawa.

Si Agustin ang panganay sa tatlong magkakapatid. Walang taros siyang namuhay; tinanggap pa niya ang baluktot na turo ng Manicaeo (lahat ng laman ay masama).

Patuloy na nanalangin at nagdusa si Monica alang-alang sa kanyang anak, hanggang tanggapin nito ang pananampalatayang Kristiyano at bininyagan noon 387.

Nang pumanaw si Monica, madamdamin ang mga salita ni Agustin ukol sa ina: "Ito ang ina, ngayoy pumanaw at sa ilang panahon ay makukubli sa aking paningin, na tumangis para sa akin sa mahabang panahon upang mabuhay ako sa inyong paningin."

Nagbunga ang katapatan ni Monica, at inakay niya ang iba sa Diyos. Namamangha tayo sa matiyagang pananampalataya ng babaing laiko na ito!

Si Santa Monica ay hanggang sa ngayon ay nalalarawan pa rin sa iba pang mga kababaihan at buhay na buhay sa mga matitiyagang mga ina na nakikipagsapalaran sa iba't ibang mga larangan ng pagsubok sa buhay.

Kaya ang mga inang matitiyaga sa pagpapanalangin ay nagbunga rin ng marami at pinagpapala ng Poong Maykapal. Ipanalangin natin ang lahat ng mga Ina sa mundo.

Laiko, Simbahan at Misyon
(Fr. Dino Oroflo)

第四部 多様性の中の一貫の実践に向かう

Ⅹ・実践の基礎となる四つの憲章

(1) 公会議が四つの憲章、つまり「典礼憲章」、「教会憲章」、「啓示憲章」、「現代世界憲章」(発行順に記載)を中心に、その他10種類の教令と2種類の宣言などを公布したことは前に述べました。それらの中で刷新の基礎となったのは四つの憲章であり、他の教令と宣言はその実践の方針を示すものでした。その後当然公会議の教えと方針の具体的な実行が緊急に求められました。

(2) 最初に目覚ましい改革をしていったのは典礼の意識の刷新とそれを体現する典礼祭儀でした。その改革の流れは、「典礼憲章」が最初に発布されたということよりも、特に西欧の教会において数十年も前から刷新の潮流があり、むしろ公会議によって実践的に始まったということでした。その時からの際立った変化は、例えばミサ執行の根本的な形式に関して、司式

「十人のおとめ」のたとえで「愚かなおとめたちが(油を)買いに行っている間に、花婿が到着して、用意のできている五人は、花婿と一緒に婚宴の席に入り、戸が閉められた」とありました(マタイ25・10)。

心情的には愚かなおとめたちも中に入れてよいのではないかと思われるものです。なぜイエス様は非情にも「戸が閉められた」と語られたのでしょうか。この表現はマラキの預言の一節を思い起させてくれます(マラキ1・10)。そこには、「あ

者が祭壇を真正面にして行われたミサから、祭壇の前から会衆を真正面にして行われる真逆の対面式ミサに変わりました。

またラテン語から自国語でミサが行われ、聖体拝領に際しては、日本の教会において司祭が直接拝領者の口にご聖体を入れることから、拝領者が差し出す両手

に司祭がご聖体をおいてそれをいただくことへ、聖堂内あるいは祭壇中での礼拝の形式が「ひざまづく」ことから「頭を下げる」こと

カトリック教会の多様性を生きる ～とくに信徒と聖職位階とのかかわりの中で～

鹿兒島教区司祭 永山幸弘

ことが強く意識され、「聖書に親しむ」ための学習会が開かれていったことでした。その後少し遅れてですが、「み言葉の祭儀」も行われました。

1981年12月には、鹿兒島教区司祭評議会編集の『カトリックの信仰』(聖書と教理を簡潔に整合させた教本)が出版されました。実際は故竹山昭神父が著したもので、私は日本の要理書の中の名著だと思っ

話については、それまでの「要理書」を中心にするのではなく、聖書そのものまた聖書を平易に説明する小さな「手引き書」などを使用するようになり、全国から数種類の手引書が出版されました。公会議文書の翻訳、その解説書、そして関連の本も徐々に出版されていきました。

それまでと大きく変わっていったのは「み言葉」が教えの中心的な要素である

ています。

(4) 教会はまた世界の中の教会という概念のもと、「社会に奉仕する神の民」として内向きから外向きになっていく方向に努めることになりました。社会に向けて活動も少しずつ行われるようになり、これまでより活動が社会に広がっていき、感じました。

月刊誌「福音と社会」、「あけぼの」、「世紀」など外部の読者に向けたもの

して信徒たちの代表が各教区あるいは教区合同の公聴会を開催するなどして、討議し、分かち合い、それをまとめ事務局に送付して京都に参集しました。京都のカテドラル河原町聖堂は満席でした。

この会議で3日間議論され、あとでまとめられた方針は画期的な内容を持ち、その後の日本教会の指針となるものでした。しかし、今考えると教区によってその受容の程度に違いがあったので、成功したと私個人は思っています。

(5) ところで、現在、第2バチカン公会議終了から50年が過ぎましたが、公会議の精神と教えを再確認し学び直そうと、既刊の公会議文書の翻訳を見直し、新しい翻訳が出版されています。

1987年に日本カトリック司教団主催の「福音宣教推進全国会議」が京都で開催されました。

この会議のために日本の全教区が3年の準備期間の中で司教、司祭、修道者そ

も発行されはじめました。私個人にとっては、「ザビエル市民講座」生き方を考える集い」開講にあたって大いに参考にさせていただきました。

公会議終了から22年後の1987年に日本カトリック司教団主催の「福音宣教推進全国会議」が京都で開催されました。

現在日本の教会は待降節第1主日(2022年11月27日)から新しい「ミサ式次第」に従ってミサを執行しています。これまでの「ミサ典礼書」は1978年12月に発行されていましたが、約40年ぶりの改定になりました。

とすれば、来るべき時、即ち、終末に向けての準備が出来ていなかっただけで、天の国の礼拝に相応しくないということになります。そのような者が天の国に入れ

の地上に來られます。花婿であるイエス様がいつ來られるのかは誰も分かりません。そのため愚かなおとめのように耐え切れず眠り込み、必要な準備を確認できない者がいることではない

また、終末を迎える準備ができていないのかを自らに問うてみることを命じられています。天の国は誰にも開かれていないもの、誰もが入れる訳ではありません。後になって追加で入れてもらえることもありません。入り口の戸がいつたん閉じられたら再び開かれることはないのです。そこには人間的な情が働かず、余地はありません。天の国がこうした解放性と閉鎖性を併せ持つことをいつも心掛けていたものです。

《康由神父の聖書教室》61

終末を迎える時に



この言葉はバビロン捕囚後、故郷では物心共に祭儀的領域での逸脱が多かったことを背景にしています。イエス様のたとえがこのマラキの預言を踏まえている

ないようにするため、天の国の「戸を閉める者」こそがイエス様なのです。終末とは天の国がこの地上で実現する時です。その時にこそイエス様が再びこ

「目を覚ましていなさい」と命じられました(マタイ25・13)。これは単に終末を意識していなさいということではありません。終末を迎えるにあたりそれに相応しい祈りや礼拝を捧げ続けることを命じられています。

祈りの意向 平和と非暴力の文化 日本教会 カトリック学校

会と催し 4月

- 2日(日) 受難の主日(枝の主日)
- 4日(火) 中野裕明司教叙階記念(1978年)
- 4日(火) レヒナ神父命日(2015年)
- 5日(水) 聖香油ミサ・カテドラル・11時
- 5日(水) コンベンツス・教区本部・13時
- 6日(木) 中野アカデミー・教区本部・14時
- 6日(木) 聖木曜日(主の晩餐)
- 7日(金) 聖金曜日(主の受難、大斎・小斎)

14世紀中ごろ、教皇クレメンス6世は、パレスチナ各地の巡礼所とヨーロッパからの巡礼者保護をフランスに委託しました。その後、政情不安定な聖地で苦勞している修道者たちを支えるために行われるようになった献金は、いつのころからか主の受難と死を記念する聖金曜日にささげられるようになりました。そして教皇レオ13世は1887年、カトリック教会のすべての小教区にこの聖地のための献金を命じました。

全世界の教会からローマ教皇庁に集められる献金は、現在、イスラエル、ヨルダン、キプロス、パレスチナ自治区内にある数多くの巡礼所や聖堂などの維持管理に充てられるほか、聖地の貧しい兄弟のための福祉施設や教育施設の運営、奨学金や生活保護などの資金として使われています。

- 8日(土) 聖土曜日
- 9日(日) 復活の主日
- 11日(火) みことばを祈る集い・ザビエル教会・10時
- 13日(木) 久保芳一神父叙階記念(1975年)
- 16日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日)
- 19日(水) 中野アカデミー・教区本部・14時
- 22日(土) アン神父叙階記念(2006年)
- 23日(日) 復活節第3主日
- 25日(火) 聖マルコ福音記者
- 28日(金) マイエル神父命日(1978年)
- 28日(金) ハンマ神父叙階記念(1963年)
- 29日(土) 橋口啓悟神父叙階記念(1996年)
- 30日(日) 復活節第4主日
- ▼世界召命祈願の日
- ▼谷村達郎神父命日(2018年)

- 【司教日程】3日大口明光学園、4日聖香油ミサ及びコンベンツス、5日中野アカデミー、8日大口明光学園、12日13日常任司教委員会(東京)、16日アチエス、19日中野アカデミー、26日中野アカデミー、28日29日日本カトリック学校教育学会

祈りの意向 平和と非暴力の文化 日本教会 カトリック学校

シドッチ神父について学ぼう②

第2回シドッチ祭(系永司教)講演要旨

列福申請が提出(2021年11月)されたシドッチ神父のことをよく学び、鹿児島教区民が崇敬するようになるために、第2回シドッチ祭で屋久島の方々に向けて当時の教区長系永真一司教の講演したその要旨をお伝えしたい。

1. シドッチ神父の略歴

シヨバンニ・バチスタ・シドッチは1668年、イタリヤはシシリア島のパレルモで生まれ、若くしてローマに出て神学校に学び、やがてカトリック教会の「司祭」(通称は神父)に叙階されました。1703年、35歳の時、ローマ法王クレメンス11世より宣教師として日本に行くよう命じられます。

この年は日本では元禄16年で、その前年には赤穂浪士の討ち入りという事件が起きています。さて3年間ローマに留まって日本の風俗や言語を学んだシドッチは、1706

「ウクライナ」支援募金 教区では、レデンプトール宣教師修道女会とカノッサ修道女会を通してウクライナ支援することになりました。郵便振替は下記の通り。
郵便振替：02030-2-8359
加入者名：カトリック鹿児島司教区
*通信欄に「ウクライナ」と明記の事

年、母と兄に悲しい別れを告げてローマを出発、ジェノバ港からカナリヤ諸島を経てフィリピンのマニラに向かいます。約1年を費やした危険で苦しい旅でした。マニラに着いたシドッチは在住日本人たちの間でさらに日本語や風俗習慣を学び、日本渡航の準備をしました。屋久島上陸の時、身につけていた着物や刀もそこで手に入れたようです。そして遂に1708年8月末、スペイン船トリニダード号で日本に向かい、10月10日の夜半、屋久島の恋泊にたどり着いたのです。シドッチ神父40歳の時でした。

日本行きを命じられてからすでに5年、目的地の島影を臨みながら、シドッチは万感をこめて最後の手紙を何通か認めました。その一通が「鹿児島島のキリシタン」(パチエコ・デイエゴ著、春苑堂書店、1975年)に紹介されています。マニラのフランシスコ会修道院長に宛てたものです。

「ついに神は私を日本のすぐ近くまで導き給うたのです。それで、あちこちに

聖書愛読運動実行委員会の皆様に心から感謝申し上げます。聖書を読むということは個人で努力すべきことですが、なかなか。こうして聖書愛読を企画して頂き、参加している多くの仲間と聖書に向かっている

感想 聖書を読んで Sr.川端千鶴子

喜びと言いますが、励まされることで、難なく完読できましたことに喜びを感じています。読むたびに同じ「みことば」が違った意味で読み取れて、まさにみことばは生きていくということを感じさせられ、その深さに驚いています。人間という者の弱さと言いますか、醜さ、人間はここまで悪い者なのかと思う

反面、神がそれでも見放さずかかわって下さる憐れみ深さに、親心に、申し訳ない思いでいっぱいでした。雅歌の解説に「花婿はイスラエルの民を愛する主なる神であり、花婿と花嫁にキリストと教会、神と聖母マリア、キリストとキリスト者の靈魂を当てはめて解説している」とありますが素直に言って雅歌は取り立

てて聖書に入れなくても良いのではとも思いました。前回、完読した際に送ってもらった褒美もフルに使わせて頂いています。今回の通読は、私事ですが福岡へ転勤ということにもなりましたので、スピードアップしての完読でした。どうもありがとうございます。修道女会 笠利修道院



要理

イエス様は「あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存じなのだ」と言っているのか(マタイ6・8)?

でもそれは間違っています。神様は私たちに祈り続けることを求めています。神様は祈りを聞き入れてくださらないのではありません。繰り返される私たちの祈りを通じて心の準備を整うその時を待つておられるのです。

お祈りの正しい仕方とは?

お祈りの正しい仕方とは? 人間はこうした誘惑に駆られることがよくあります。私たちには神様に叶えてもらいたいがたくさんあります。しかし自分の願いが聞き入れられたら信じるけれど、聞き入れられなかったら信じないというのは私たちの正しい信仰ではありません。それでは私たちの信仰が偶像礼拝になってしまうのです。そのようにならないために祈りの結びにはイエス様のように「わたしの願いどおりではなく、御心のままに。」と一言を付け加えましょう(26・39c)。

でも違うかたちで聞き入れられていることがあります。神様からすればそちらの方が私たちにとって良いからこそ敢えてそのようになさることもあるのです。偶像礼拝という言葉聞いたことがあると思います。これは文字通り何かの像を拝むことではありません。神様を自分の思い通りに働かせようとするのです。人間はこうした誘惑に駆られることがよくあります。私たちには神様に叶えてもらいたいがたくさんあります。しかし自分の願いが聞き入れられたら信じるけれど、聞き入れられなかったら信じないというのは私たちの正しい信仰ではありません。それでは私たちの信仰が偶像礼拝になってしまうのです。そのようにならないために祈りの結びにはイエス様のように「わたしの願いどおりではなく、御心のままに。」と一言を付け加えましょう(26・39c)。

ザビエル書院の窓

書院では、ロザリオの編み直し&部分修理の依頼も承っております。

- ①部分修理と全体のチェック 550円 ~
- ②ロザリオ5連編み直し (基本編み) 3,300円
- ③ロザリオ5連編み直し (長崎編み) 5,500円

※ご注文いただいてから納品まで2カ月ほどかかります。ご了承ください。

